

令和2年第3回 地域密着型サービス運営推進会議 議事録

| | |
|--------------------|---|
| 事業所名 | ルミエール 地域密着型通所介護 |
| 開催日時 | 令和2年5月 |
| 開催場所 | 書面開催（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により） |
| 参加者 | 地域住民代表（3名） 行政職員 地域包括支援センター デイ利用者（1名） |
| 会議内容 (報告内容) | 1 活動状況報告 令和1年12月～令和2年5月 2 活動状況を踏まえての今後の取り組み |

詳細報告

1 活動状況報告 令和1年12月～令和2年5月

◇ 利用人数・利用状況・稼働内容

①介護度別利用者数 ②稼働内容 ③曜日別人数 ④地域別利用者数 ⑤スタッフ内訳

介護度別利用者数（人）

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|---|---|---|---|----|
| 5月 | 29 | 16 | 18 | 9 | 6 | 4 | 0 | 82 |
|----|----|----|----|---|---|---|---|----|

稼働内容

| | 利用延べ人数 | 稼働率 | 新規契約数 | 解約数 |
|-----|--------|-------|-------|-----|
| 12月 | 267人 | 35.3% | 2名 | 1名 |
| 1月 | 275人 | 38.1% | 6名 | 0名 |
| 2月 | 334人 | 46.3% | 11名 | 2名 |
| 3月 | 312人 | 39.3% | 3名 | 2名 |
| 4月 | 129人 | 16.2% | 4名 | 4名 |
| 5月 | 102人 | 13.4% | 2名 | 6名 |

※各月の末人数です。利用人数の中に解約された人も含まれています。

曜日別人数（2020年5月31日現在）

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 午前中 | 13 | 13 | 12 | 11 | 11 | 60 |
| 午後 | 11 | 13 | 10 | 11 | 12 | 57 |
| 合計 | 24 | 26 | 22 | 22 | 23 | 117 |

地域別利用者数（2020年5月31日現在）

| 地域名 | 東山手地区 | 西山手地区 | 精道地区 | 潮見地区 |
|-------|-------|-------|------|------|
| 契約者人数 | 1 | 4 | 23 | 47 |

スタッフ内訳 兼務を含む（2020年5月31日現在）

| 管理者 | 相談員 | 機能訓練指導員 | 看護師 | 介護職員 |
|-----|-----|---------|-----|------|
| 1 | 2 | 1 | 2 | 5 |

◇ 苦情・クレーム・事故報告

ヒヤリハット

- ・ 利用者が着座時に尻餅をつくように座ってしまい、防止できなかった。（痛み等の訴えはなかったが）今後は積極的に声掛けし、しばらく見守り経過観察する。
- ・ 3階デイからお帰りの際、職員が着く前、利用者だけでエレベーターに乗ってしまわれた1階エレベーター前に職員が先回りし大事はなかったが誘導時、利用者から目を離さないようにする。

他2件

事 故

- ・ デイ利用中に服薬する薬の服薬忘れ
帰宅後に飲み忘れ発覚、家族・利用者に連絡し、利用者から「私も飲み忘れることもあるし、気がつかなくてごめんなさい。」と言われた。今後は飲み忘れを防ぐため、下記のとおり対応する。
 - ① 来所時に、連絡帳係と看護師が利用者の薬があるかどうか確認する。
 - ② 連絡帳係が連絡帳入れに、服薬カードを洗濯はさみで止める。
 - ③ 与薬確認表に、それぞれ記入する。
 - ④ 薬をウォールポケットに入れ管理を行う。
 - ⑤ タイマーをセットする。
 - ⑥ 指定時間にタイマーが鳴るため、ご利用者に与薬する。
 - ⑦ 与薬した職員が与薬確認表に記名し、連絡帳にも与薬したことを記入する。
 - ⑧ 他の職員に服薬した旨、口頭で声をかけ合う。
 - ⑨ 連絡帳印刷者が服薬カードを外す。（このとき服薬したかどうか最終確認）
- ・ フロアー内で椅子から急に立ち上がり机の足に利用者の右足が引っかかり転倒、痛みを利用者が訴えることがなく、また外傷も見られなかったため、経過観察、その後、家族に連絡、その後も痛みの訴えはなく、現状もご利用中

クレーム

ありませんでした。

◇ 新型コロナウイルス感染症による影響

- ・ ご利用者様へ利用の自粛要請を行い、多数のご利用者様からご理解をいただき、感染拡大防止に努めることができました。

2 活動状況を踏まえての今後の取り組み

開所から1年半がたちルミエールの知名度も上り、順調にご利用者様を増やすことができていましたが、この度の緊急事態宣言の発令により、ご利用者様には自粛の要請を取らざるを得ない形になってしまいました。

今後は新型コロナウイルスの感染防止を徹底しつつ、平常時に戻していくよう邁進してまいります。また、各居宅介護支援事業所から訪問可能と許可を得たら営業も再開したいと思っています。

自粛期間中に他施設に変更された方や身体状況が低下され入所された方、また、お亡くなりになられた方もいらっしゃいましたが、どのご家族様も「またルミエールに行きたいと言っていました。」と声を掛けていただき、これからも押しつける介護にならず、ご利用者様の自主性を重んじるサービスを心掛けたいと思っています。

3 委員からの要望・助言等

- ・ 人員体制、対応能力の状況について教えてほしい。
- ・ 職員が増やせるよう処遇の改善を社会全体に訴える必要がある。
- ・ 地域で交流できる行事が行われると良い。